

## 個人的な援助の方法

もし身近に家庭内暴力を受けている人がいたら、あなたにも手助けができません。

あなたにできること:

- ・ 家庭内暴力は認められないと教えること
- ・ このパンフレットの情報を渡すこと
- ・ 利用できる公共福祉サービスと、それら諸機関への連絡方法を教えること
- ・ これらのサービスに連絡することを援助、勧めること

傷つけられたり危険な状態の人がいたら、すぐに警察に通報（ダイヤル111）してください。

このパンフレットは多様な民族コミュニティ出身の女性たちと協議の上、民族間関係調停局 ([www.ethnicaffairs.govt.nz](http://www.ethnicaffairs.govt.nz))と女性省 ([www.mwa.govt.nz](http://www.mwa.govt.nz))により作成されたものです。

Japanese

# 率直に 援助を求めて 平和な家庭

異文化出身の女性やその家族が暴力の無い家庭生活を送るためにできること



## ニュージーランドの公共福祉サービスについて

公共福祉サービスは女性、男性、子供を含めた全ての人を援助するためにあります。言語や文化的背景は関係ありません。

家庭内暴力を受けている女性は：

- ・ 政府やコミュニティサービスから無料で、また極秘にアドバイスを受けることができます。
- ・ 配偶関係についてのアドバイスを受けられます。
- ・ 配偶関係に変更があった場合、移民局のアドバイスを受けられます。
- ・ 一時的に住む場所を探す援助が受けられます。
- ・ 本人やその子供、家族は法的な保護が受けられます。

ニュージーランドの公共福祉サービスは信頼とプライバシーの保護を重視し、本人の同意を得ずに個人情報や第三者へ提供することはありません。

これらのサービスを、専門通訳者による電話通訳あるいは立会い通訳で利用することもできます。

## ニュージーランドでは、家庭内暴力は違法行為です。

家庭内暴力とは、家族の一員により肉体的、感情的または性的に傷つけられたり、虐待を受けることです。

以下の行為を容認してはいけません。

- ・ たたく、平手打ち、殴る、首を絞める、蹴るなど、肉体的に傷つけられること
- ・ 脅迫や恐喝
- ・ 性交や性的行為を強要されること
- ・ 金銭、食事、住居や衣服の提供を拒否されること
- ・ 子供を取り上げると脅迫されること
- ・ 家族やコミュニティから切り離されたり、隔離されたりすること
- ・ 意思に反して拘束されること
- ・ 強制的な結婚。16歳未満の結婚は違法です。

## 民主主義国家のニュージーランドでは全ての人に権利と義務があります。

ニュージーランドでは、全ての人が暴力を受けない権利があります。

これはニュージーランドに住む全ての女性に以下の権利があることを意味します。

- ・ 暴力的な関係から逃れること
- ・ 子供のために安全な家庭環境を提供すること
- ・ 意思に反することには「ノー」と言えること
- ・ 働くこと\*
- ・ 勉強すること\*

援助を求める際、夫やパートナーの元から離れる必要はありません。

政府やコミュニティサービスは信頼とプライバシーを重視します。

\* 市民権やビザの条件による